



くるみん通信

vol.4

2014年3月発行

《発行》厚生労働省
大分労働局雇用均等室
〒870-0037

大分市東春日町17番20号
大分第2ソフィアプラザビル4F
TEL 097(532)4025
FAX 097(537)1240

<http://oita-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>



来年度も、つづくみん!

「くる通」第4号!

次世代法の改正法案が国会に提出されました。

平成26年2月14日、来年度末に期限が切れる次世代育成支援対策推進法の10年間延長、新たな認定制度の創設等の内容を盛り込んだ改正法案が国会に提出されました。

また、くるみん取得企業の税制優遇措置の1年間延長も平成26年度税制改正大綱において決定されました。

今回は、素敵なパパが集まった「おおいとパパくらぶ」に突撃リポートしてきたみん! コラムも楽しみ♪



★大分労働局HPの雇用均等室のページが新しくなりました。★

まずはチェック!

一般事業主行動計画の届出・認定の状況

一般事業主行動計画の届出企業数

全国・・・67639社 大分県内・・・891社

認定企業数

全国・・・1785社

(※平成26年2月末現在)

九州・沖縄8県中3位

大分県内・・・13社

(※平成26年3月25日現在)

大分県内の認定企業（認定取得順）

- ① 株式会社トキハ（H19年）
- ② 社会福祉法人安岐の郷（H22年・H24年）
- ③ 医療法人社団恵愛会 大分中村病院（H22年）
- ④ 株式会社大分銀行（H22年）
- ⑤ 株式会社日豊ケアサービス（H23年）
- ⑥ 国立大学法人大分大学（H23年）
- ⑦ 医療法人敬和会 大分岡病院（H23年）
- ⑧ 医療法人聖陵会 聖陵岩里病院（H23年）
- ⑨ フンドーキン醤油株式会社（H24年）
- ⑩ 医療法人明徳会 佐藤第一病院（H25年）
- ⑪ 社会福祉法人 太陽の家（H25年）
- ⑫ 九州東芝エンジニアリング株式会社（H26年）**New!**
- ⑬ 西日本電線株式会社（H26年）**New!**

News!

新しい仲間がまた増えたよ。
2月と3月に九州東芝エンジニアリング(株)さんと西日本電線(株)さんが認定を受けました。
みんなが来るのを待ってるみん!



女性社員の活躍推進について!

第109回労働問題研究会

主催：大分県経営者協会（労働問題研究会） 共催：大分労働局

女性社員の活躍推進についての第109回労働問題研究会が平成26年1月23日（木）開催されました。まず、㈱大分銀行経済経営研究所 河野祐子主任研究員より、女性社員の活躍推進についてのデータからみた県内外の状況などの講演があり、次に女性社員の登用に積極的な県内企業（㈱大分銀行、九州電力㈱大分支社、㈱トキハ）の各担当者様から具体的な取組を発表していただきました。（また、大分労働局 手塚雇用均等室長からポジティブ・アクションの取組方法について説明しました。）講演や各社の発表を聴く参加企業の皆様方の関心の高さ、真剣さが伝わってくる研究会でした。♪♪♪



◆女性社員の活躍推進に関する現状と課題

㈱大分銀行経済経営研究所 主任研究員 河野祐子氏

I 女性の活躍推進の2つの側面

- 女性の就労の「量的拡大」を図る
- 女性人材の登用促進という「質の向上」を図る

II 県内の女性就業者の動向（各種調査統計データから）

- ・全国的に女性の年齢階級別労働力率はM字型、女性の管理職は少ない
- ・女性は、男性に比べ非正規の割合が高い
- ・県内女性の多く従事する産業は、医療・福祉、卸売・小売業で約半数を占める
- ・育児中の県内の女性雇用者のうち、育児休業等の制度利用者は3分の1強

III 県内企業の女性社員活躍推進の取組状況（経営者協会アンケートより）

- ・経験・意欲の不足や仕事と家庭の両立の難しさが、阻害要因
- ・企業の今後の取組の意向は非常に高い

◎今後の課題

1. 女性を含む全体の意識改革
2. ロールモデルづくり
3. 成果による仕事の評価

㈱大分銀行 人事業務グループ人事役 菅博之氏

- 女性の活躍支援意識調査を行い、課題と方向性を分析
 - ・長く勤務できるよう、結婚・出産後も働きやすい環境整備が必要
 - ・女性も上位職で働く必要性を再認識してもらう等
- 女性の職域拡大として、融資係、得意先係に配置・育成を図り、キャリアモデルを示す
- ★取組実績
 - 女性の人財活躍推進の取組により役職者の女性比率が増加

各社の取組み事例

九州電力㈱大分支社 人事グループ長 安藤博昭氏

- 2007年本社人事労務部内に「女性活躍推進グループ」を設置し、多様性を尊重する人材マネジメントの推進を行う
- 社長メッセージの発信、管理職への働きかけ等による意識改革、風土の醸成
- 女性社員のネットワーク構築、懇親会の開催による女性のキャリア形成支援
- 仕事と家庭の両立支援
- ★取組実績
 - 女性社員、管理職、職場メンバーの意識向上は進みつつある。

㈱トキハ 人事部長 吉本直樹氏

- 育児休業制度の定着、利用の促進
 - ・社内制度は1988年からあり、女性の取得率は100%、これまでに男性取得者は2名
- 短時間勤務制度の拡充（小1の8月末まで）
 - ・小学校1年生の夏休み（8月末）まで利用できる制度、これまでにのべ119名が利用
- 介護休業制度、介護短時間勤務制度の利用促進
 - ・介護休業制度取得実績のべ23名、短時間勤務取得実績のべ6名



ポジティブ・アクション

情報ポータルサイト

<http://www.positiveaction.jp>

くるみんが行く 第2弾



今回は、おおいたパパくらぶへ
おじゃましたみん！

今回くるみんと共に伺ったのは、「おおいたパパくらぶ」の講座です。

おおいたパパくらぶは、大分県の「男性の子育て参画日本一」を目指す取組としてスタートし、平成22年から2年間で約100人のパパが、育児・家事に関する講座や父親どうしのつながりづくりを目的とした講座を受講しました。県の講座が終了した現在もメンバーの有志で活動を継続しています。



この方が篠原さん。1児のパパで
社会保険労務士さんだよ。
パパたちに囲まれてうれしいみん♪

この日は「みなみおおいたイクメン倶楽部」での活動におじゃました。

「みなみおおいたイクメン倶楽部」は、南大分公民館が主催の連続講座(全5回)で、おおいたパパくらぶが企画・運営をされたそうです。

篠原さんのご講義で、ワーク・ライフ・バランスの現状や必要性についての説明と、話し合いのための研修ということで「海難事故からの脱出」という題のグループワークもありました。

中心メンバーの一人である篠原丈司さんにお話を伺いました！

Q. 現在はどのような活動をしているのですか？

A. 県内各地域で絵本の読み聞かせや情報共有のためのパパ講座を行っています。

Q. 活動の効果を感じることはありますか？

A. 少しずつですが、育児に積極的なパパが増えている実感はあります。パパ講座などは、ママから言われて嫌々参加したというパパも多いですが育児は楽しいんだと気付いてくれるようです。プレパパ講座の終了後に参加者が絵本コーナーで絵本を見ていた、と聞いたときはうれしかったですね。

Q. 育児休業など、仕事との両立について取り上げたことはありますか？

A. はい。パパ講座でワークライフバランスについて取り上げました。メンバーの中には6カ月の育児休業を取得したパパもいます。

Q. 育児と仕事の両立において、普段心がけていることはありますか？

A. (妻を)手伝うという意識は禁物。主体的に動くことが大事です。活動を通じて妻との関わり方も変わり、仲もよりよくなったと思います。

おすすめの絵本も教えて
いただいたみん！！

- ★「うえきばちです」
- ★「ちょっとだけ」
- ★「まるまるまるのほん」
- ★「おこだでませんように」



おおいたパパくらぶブログで、詳しい活動内容を紹介しています！

<http://oitapapa.blogspot.com>

「一期一会」

春。別れと出会いの季節。私もこの4月で異動になり、4年間慣れ親しんだ大分の地を

離れることとなった。この4年を振り返ると、公私とも周りの方々にめぐまれていたなぁと実感する。

仕事面では、あの時こうしておけばよかったと後悔することも多いが、上司や先輩に恵まれ、様々な経験を通じて学ぶことができた。休日は、友人や同期と温泉巡りやカフェ巡りをして満喫し、充実した日々を過ごすことができた。

先日、お世話になった上司から「新天地を離れる時も今と同じような気持ちで去ることができるように頑張れ。」とお言葉をいただいた。

新天地への異動、不安と期待でいっぱいだが、数年後、また一期一会に感謝して離れることができるよう日々精進したい。

均等室日記



ココロドラマ

「私の大好きなテレビドラマ」

私はテレビドラマ、特にリーガル・サスペンスのドラマを見るのが大好きである。数あるドラマのうち、なぜリーガル・サスペンスの分野が好きかと言えば、トラブルに陥った当事者双方が、法律という共通の土俵の上で専門家である法曹の力を借りて、自己に有利な解決を目指して最大の情熱を傾ける姿にしんけん人間臭さを感じるからです。また、登場人物の言動を通じて、彼ら、彼女たちの駆け引き、裏切り、自己保身、自己犠牲、そして、その背景にある心の襞に触れることにより、心理ドラマとして味わうこともできます。

リーガル・サスペンスのテレビドラマと言っても、アメリカの作品のほうが断然面白いと思います。それは、弁護士倫理に抵触しない範囲で依頼人の利益の極大化を目指し、勝負にこだわる姿に、プロフェッショナルとしての頼もしさと敬意すら覚えます。実は、日本よりも弁護士倫理規程が詳細で懲戒処分運用もはるかに厳しいのですが、その中でアメリカの弁護士は、むしろストライクゾーンぎりぎりを狙ってでも依頼人のためにベストを尽くすシーンをよく見かけます。強いて言うなら、日本のテレビドラマの中でこのタイプに近いのが、「リーガル・ハイ」の堺雅人演じる古美門研介です。少しはイメージを掴んでいただけたでしょうか。

そのアメリカのリーガル・サスペンス・ドラマの中で一番好きなのが「ダメージ」のシリーズです。主演は、「危険な情事」で有名な演技派のグレン・ローズ演じる凄腕のパートナー弁護士パティ・ヒューズと、オーストラリア出身の若手女優ローズ・バーン演じるエレン・パーソンズの女性二人です。パティ・ヒューズは、権力者の不正に悠然と立ち向かう原告側弁護士で、勝つためには手段を択ばないやり方です。その法律事務所に採用されたのがロー・スクールを卒業したばかりで野心に燃える新人弁護士のエレン・パーソンズという設定です。この二人のやり取りを中心にドラマは展開していきますが、時系列のシーンで構成されるのではなく、現在と過去のシーンが交錯するフラッシュバック・サスペンスのスタイルをとっています。例えば、シーズン1では、ニューヨークの高級マンションから下着にコートを羽織っただけの血まみれ姿のエレン・パーソンズが走り出してくると言うシーンが冒頭に流されます。いきなりアドレナリン100%噴出間違いなしといった状況です。これ以上ストーリーを書くネタバレになるので差し控えますが、間違いなく一押しドラマです。また、この「ダメージ」では仕事だけでなく、二人の女性弁護士を中心に、夫、子供、婚約者、父母、姉、婚約者にちょっかいを出す女等の人間関係がきちんと描かれていて、リアルに感じられます。二人ともしんけん優秀、かつ、人間的な魅力も備えたバリキャリで、彼女たちの圧倒的な存在感と最善手を繰り出す駆け引きの凄さも見逃せません。男性諸君がこのドラマを見る際に予め注意していただきたいのは、パティ・ヒューズが余りに凄過ぎて、男性では到底歯が立たず自信喪失に陥ってしまうことです。もし、シェイクスピアが今生きていたら、きっと「強きもの、汝の名は女なり」というでしょう。怖いですねえ。恐ろしいですねえ。では、次回をご期待ください。サヨナラ、サヨナラ、サヨナラ！

(労働局 K)



最後は・・・くるみんのひとりごと



今年度、最後のくるみん通信だみん！

いろんな事業所を訪問できたし楽しかったみん☆

1年間、お世話になりました。

来年度は、是非皆さんに会いたいみん・・・！

大分労働局雇用均等室へご連絡ください！！

(097-532-4025)